

多項目自動血球分析装置

仕様書

令和6年10月

奈良県総合医療センター

(調達物品の構成内容)

機器名：多項目自動血球分析装置 2式

(内訳)	数量
1 測定モジュール	4台
2 塗抹標本作成装置	2台
3 純水製造装置	1台

(調達物品に備えるべき技術的要件)

1 測定モジュール

- 1-1 検査項目としてWBC、RBC、HGB、HCT、MCV、MCH、MCHC、PLT、NEUT%、LYMPH%、MONO%、EO%、BASO%、NEUT#、LYMPH#、MONO#、EO#、BASO#、RET%、RET#、の測定が可能であること。
- 1-2 白血球分類の測定方法は半導体レーザーを用いたフローサイトメトリー法であること。
- 1-3 ヘモグロビン測定にシアンを使用していないこと。
- 1-4 PLTの測定方法は電気抵抗方式、及びフローサイトメトリー法であること。
- 1-5 有核赤血球数の定量測定が可能で、白血球数の自動補正ができる機能を有すること。
- 1-6 幼若顆粒球を解析し実数とパーセンテージで表示可能であること。
- 1-7 骨髄における血小板の産生能、幹細胞移植後の血小板生着予測および、ITPに有用な幼若血小板を測定できること。
- 1-8 末梢血中の造血前駆細胞数の測定ができ、末梢血幹細胞移植の為の有用な情報を提供できること。
- 1-9 吸引血液量は、サンプラー方式、マニュアル方式ともに100 μ l以下であること。
- 1-10 検査に要する検体量が20 μ L以下の微量血に対応した測定モードを有していること。
- 1-11 CBC、CBC+DIFF、CBC+DIFF+RETの3モード以上で測定できる機能を有すること。
- 1-12 CBC+DIFF 測定時110検体/時間以上、CBC+DIFF+RET 測定時に80検体/時間以上の処理能力を有すること。
- 1-13 自動再測定が可能であること。
- 1-14 2台ずつ搬送接続が可能であること。
- 1-15 自動塗抹標本作成装置と搬送接続が可能であること。
- 1-16 大容量試薬については、試薬調整装置により濃縮試薬を純水で希釈し、使用濃度に希釈後、分析装置に供給可能であること。
- 1-17 日々のユーザーメンテナンスは容易であること。

- 1-18 検体の吸引には血液接触のリスクを軽減する為、キャップピアッシング方式を採用していること。
- 1-19 保守契約を締結することで年一回点検が可能であること
- 1-20 既存の検体検査システム（オネスト社）に接続可能であること

2 塗抹標本作成装置

- 2-1 血液像の塗抹標本をウェッジ方式で作製し、標本認識用情報の印字、染色、乾燥までの動作を自動的に行う機能を有すること。
- 2-2 塗抹染色が完了した標本はマガジンに架設され、予め設定した時間・枚数によって排出できること。
- 2-3 多項目自動血球分析装置の測定結果から自動的に必要な検体のみ塗抹標本作製ができる機能を有すること。
- 2-4 塗抹条件は、多項目自動血球分析装置で測定されたヘマトクリット値により、検体毎に8段階以上のレベルに自動調整される機能を有すること。
- 2-5 本装置1台に2種類以上のスライドガラスをセットし1検体毎に使い分け、および2枚同時作成が、自動で制御される機能を有すること。
- 2-6 標本識別情報としてスライドガラスのフロスト部に、検体番号、日付、患者ID、患者名（漢字）、二次元バーコードを印字することが可能であること。
- 2-7 小児検体の増加した場合に備え、微量血用試験管での塗抹標本作成が可能であること。
- 2-8 処理能力は、70検体/時間以上であること。
- 2-9 検体の吸引には血液接触のリスクを軽減する為、キャップピアッシング方式を採用していること。
- 2-10 吸引血液量は、サンプラー方式 80 μ l 以下、微量モード方式 45 μ l 以下であること。
- 2-11 デッドボリュームは、サンプラー方式 500 μ l 以下、微量モード方式 140 μ l 以下であること。
- 2-12 用手法で作製する塗抹標本に対して、標本識別情報の印字および染色が可能であること。
- 2-13 1-1 多項目自動血球分析装置と搬送接続する事が可能であること。
- 2-14 操作オペレーションに関わる表示言語は日本語対応であること。
- 2-15 保守契約を締結することで年一回点検が可能であること
- 2-16 既存の検体検査システム（オネスト社）に接続可能であること

3 純水製造装置

- 3-1 原水中の不純物を分離除去できる逆浸透ろ過膜（RO膜）を搭載し、初期値導電率比較で90%以上の不純物を除去できること。また、イオン交換による

純水精製の方式は樹脂ポンベ交換式であること。

- 3-2 造水能力は 40L/h 以上を有すること
- 3-3 内蔵タンクの容量は 20L 以上を有すること
- 3-4 純水製造装置本体の外形寸法は幅 330mm×奥行 640mm×高さ 1,265mm 以下であること
- 3-5 精製開始直後の装置内滞留水を自動排水する機能を有していること
- 3-6 純水精製中の RO 処理水の水質、イオン交換水の水質を監視する機能を有していること
- 3-7 カラータッチパネルを有し、動作モニター、警報画面への複数画面に切り替えが可能であること
- 3-8 運転記録、水質記録、交換記録する機能があること